

ごみ減量を正面にすえ、住民参加と合意のもと、一からやり直しを 行き詰まった 新ごみ処理施設建設で申し入れ

江南・犬山・扶桑・大口の日本共産党議員団

尾張北部地域第1小ブロックの新処理施設建設問題で、犬山市・江南市・扶桑町・大口町の日本共産党議員団は、1月13日（金）ブロック会議会長の扶桑町長と面談し、今日の事態を招いた原因と責任を明らかにし、新たな局面に向けて決断を下す時ではないかと、申し入れを行いました。

申し入れ書では、「広域化実施計画」が住民参加の議論のないまま策定された上に、ごみ減量、資源化の視点に欠けた過大な施設規模と広域処理計画であること。候補地選定では、各市町1か所の抽出時から地元説明をしない住民無視の選定と上からの押し付けが行われ、1か所に絞り込んだ後も4首長の足並みが乱れるなど、住民との信頼関係を損なう対応で今日の事態を招いたと批判。

その上でごみ処理施設建設を、全住民が自らの課題としてごみ問題に向き合い、ごみ減量を推進し住民と行政の協働によるまちづくりをすすめる契機とするべきとして、次の4点を提案しています。

① ごみ減量、資源化を正面に据えて現在の実施計画を見直し、住民参加の下で策定し直すこと。その際「自分たちのごみは自分たちで責任を持つ」立場から自区内処理も選択肢



江戸扶桑町長(ブロック会議会長)に申し入れる、2市2町日本共産党議員団

に入れること。

② 建設候補地の選定に当たっては、処理方式の検討も併せて進め、情報を十分に公開し、住民参加と合意のもとで選定を一からやり直すこと。

③ 処理方式は、ごみ減量、安全、安定を前提に、財政負担の少ない方式を選定すること。

④ 住民に対する積極的な広報と情報公開、住民参加で一体に進めること。

● 江南市議員団は1月17日、石川副市長、森生活産業部長に会い、江南市長宛に同文の申し入れを行いました。

消費税増税やめよ！ 25人で宣伝署名行動 増税あおる大手メディアに負けてはいられない



1月22日（日）午前10時から11時まで、スーパーワンの前で、民主商工会や新婦人の会など消費税をなくす各界連絡会が、消費税の増税に反対する宣伝と署名行動を行いました。

「あなたが払った消費税は大企業減税の穴埋めに」と書かれたポケットティッシュやチラシを配り、署名を呼びかけると高齢者や主婦などが「消費税が上がるのは困る」「ガンバってください」と署名に協力。約1時間の行動で115筆の署名が集まりました。

一方まだまだ無関心の人も多く、「社会保障と税の一体改革」の欺瞞を広く知らせ、消費税増税ストップの大きな世論を急いで盛り上げていくことが必要です。

江南市の次期介護保険・高齢者福祉計画（パブリックコメント中）

介護保険料値上げ、認知症対策強化、グループホームなど整備の方針

民主党政権が、介護保険をはじめとする社会保障削減オンパレードの計画を打ち出す中、江南市は来年度から3年間の介護保険料を、基準月額で現在の3,778円から4,122円に値上げする計画を発表しました。日本共産党議員団が保険料の値上げを避けるためにと質問等で要求してきた、基金の取り崩しと、より負担能力に応じた保険料の算定（現在の8段階9区分→9段階11区分へ細分化）は前進しましたが、それでも保険料は値上げになっています。

また、認知症対策の強化、グループホーム、小規模特養などを今後、整備していく方針となっています。パブリックコメントは2月6日までです。介護保険料は3月市議会の議決で決定します。ご意見をお寄せください。